

趣旨

- ・学校長が、十分に裁量を発揮し、「運営に関する計画」に掲げた目標の達成に向け、学校が主体性をもって地域の実情等に応じた取組を推進する事を目的として、平成25年度より事業を実施。

学校活性化条例第5条

「校長は、教育委員会に対し、運営に関する計画に定めた目標を達成するために必要な経費を要求するものとする」

内容（総額 平成30年度予算 837,762千円）

【基本配付】（平成30年度予算 533,019千円）

学校規模に基づき、学校の申請に対し、各校に配付

平成30年度実績

- ・小中学校:5万円×(学級数)+35万円(平均支給額1校当たり約124万円)
- ・高等学校:2万円×(学級数)+20万円(平均支給額1校当たり約58万円)

【加算配付】（平成30年度予算 186,699千円）

基本配付に加え、特色ある学校づくりに必要な事業を計画・実施する学校について、500万円を上限に加算配付(外部審査あり)

平成30年度実績

- ・予算申請校数 363校 / 439校 (83%)
- ・加算配付対象校 152校 / 363校 (42%)

【区担当教育次長執行枠】（平成30年度予算 116,294千円）

区役所が、学校や地域、保護者のニーズや意向を的確に把握し、総合的な教育行政を推進(各区の教育担当者が事業実施、予算執行)

校長経営戦略支援予算について

主な取り組み内容

【基本配付】

・学力向上への取り組み

学びサポーターの配置など児童・生徒への個別支援にかかる経費

・安全・安心な学校づくり

ゲストティーチャー(防災教育等の講演会など)の招聘にかかる報償金

芸術鑑賞などを通じた人権学習にかかる劇団・楽団等への実施委託経費

・体力向上への取り組み

ゲストティーチャー(水泳やダンス等の専門家など)の招聘にかかる報償金

・多様な体験活動の推進

体験学習にかかる校外学習経費(交通費や入館料など)

【加算配付】

・読書や自主学習習慣づくり

空きスペースなど、図書室以外の場所に図書を配架するための環境整備にかかる経費(移動式書架など)

図書室や多目的室などに自習スペースを設けるための環境整備にかかる経費(衝立・パーテーションなど)

・体力づくりの促進

授業の活性化のほか、休み時間での身体を使った遊びを促進するための経費

(ボルダリングウォール・トランポリン・一輪車など)

・ICT教育の推進

ICT機器を活用した授業を効果的に進めるための教材購入等にかかる経費

(電子黒板・タブレット用キーボード・プログラミング教材など)